

## 子どもの生活に関する実態調査の結果速報について（報告）

## 1 調査及び結果速報の趣旨

広島県は、子どもの貧困対策における効果的な支援の在り方を検討するために、県内全域において子どもの生活実態や学習環境等についてのアンケート調査を実施しました。当該調査において、独自調査項目の設定及び市町単位のデータの取得を希望する市町は、共同実施市町として独自に予算化して調査を実施し、共通調査項目部分の結果データを広島県に提供することとされています。

呉市は、共同実施市町として当該調査に参加しており、この度、広島県全体の調査結果速報があったことを受けて、呉市分の主な調査結果の速報値を報告するものです。

## 2 調査概要

## (1) 目的

- ・ 貧困の状況にある子どもや家庭の実態及び支援ニーズの把握
- ・ 地方公共団体が実施している施策の認知度、利用度、利用意向の把握
- ・ 家庭の経済状況等と子どもの学力との関係性の把握

## (2) 調査対象、回収状況、調査方法等

区 分		小学校5年生の家庭	中学校2年生の家庭
調査対象者数	子ども	1,678人	1,697人
	保護者	1,678人	1,697人
有効回答数 (回答率)	子ども	1,415 (84.3%)	1,398 (82.4%)
	保護者	1,483 (88.4%)	1,393 (82.1%)
調 査 対 象 者		呉市立の学校に通う小学校5年生とその保護者及び中学校2年生とその保護者	
調 査 方 法		無記名、密封調査、学校を通じて配布し、回収	
調 査 時 期		平成29年7月	

## (3) 調査項目

- ・ 共通調査項目
  - 【子ども向け：41問】 食事、子ども部屋の有無、学力の状況、学校以外での学習の状況、塾・習い事、将来の夢 等
  - 【保護者向け：48問】 世帯構成、住居、就労状況、収入、子どもに掛ける費用、子どものかかわり、支援制度の利用状況 等
- ・ 呉市が独自に加えた調査項目
  - 【子ども向け：1問】 夢や就きたい職業に就くことを実現するためにはどのようなことが必要だと思うか
  - 【保護者向け：1問】 市が子どもの居場所づくり等の施策を実施した場合の利用意向

【本調査における「生活状態」の取扱い及び「生活困難層」等の定義について】□

本調査では、子どもの貧困状態を世帯の所得額だけでなく家庭環境全体で把握すべきであると考え、生活困窮の状況を次の三つの要素に基づいて表のように分類しています。

① 低所得

等価世帯所得（※1）が、厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」から算出される基準（※2）未満の世帯（※3）□

※1 世帯所得（公的年金など社会保障給付を含めた世帯所得）を世帯人数の平方根で割って調整した所得□

※2 厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」（所得は平成27年値）の世帯所得の中央値（428万円）を、平均世帯人数（2.47人）の平方根で割った値の50%である136.2万円

※3 低所得世帯の割合は、世帯所得の把握の方法や、可処分所得ではなく当初所得を用いている点などの違いがあるため、厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」で公表されている「子供の貧困率」（13.9%）と比較できるものではありません。

② 家計のひっ迫

経済的な理由で、公共料金や家賃の滞納、食料・衣類を買えなかった経験など7項目※のうち、一つ以上に該当

※ 電話料金、電気料金、ガス料金、水道料金、家賃、家族が必要とする食料が買えなかった、家族が必要とする衣類が買えなかった

③ 子どもの体験や所有物の欠如

子どもの体験や所有物など15項目※のうち、経済的な理由で欠如している項目に三つ以上該当

※ 海水浴に行く、博物館・科学館・美術館などに行く、キャンプやバーベキューに行く、スポーツ観戦や劇場に行く、遊園地やテーマパークに行く、毎月お小遣いを渡す、毎年新しい洋服・靴を買う、習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる、学習塾に通わせる（又は家庭教師に来てもらう）、お誕生日のお祝いをする、1年に1回くらい家族旅行に行く、クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる、子どもの年齢に合った本、子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う、子どもが自宅で宿題（勉強）をすることができる場所がある

	生活困窮層	二つ以上の要素に該当
	周辺層	いずれか一つの要素に該当
	生活困難層	生活困窮層 + 周辺層
	非生活困難層	いずれの要素にも該当しない

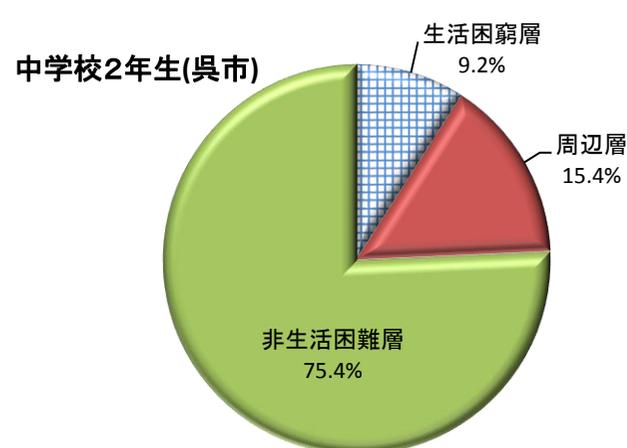
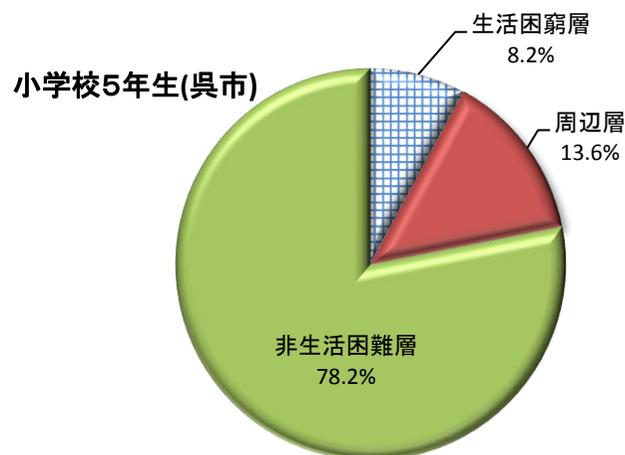
### 3 主な調査結果

#### (1) 生活困窮の状況

生活困窮層にあると思われる家庭は、小学校5年生の家庭では8.2%、中学校2年生の家庭では9.2%、周辺層まで含めた生活困難層にある家庭は、小学校5年生の家庭では21.8%、中学校2年生の家庭では24.6%であった。

世帯構成別では、小学校5年生のひとり親家庭の31.7%が生活困窮層、中学校2年生のひとり親家庭の34.9%が生活困窮層であった。

区 分		小学校5年生の家庭		中学校2年生の家庭	
		呉市	(参考) 広島県	呉市	(参考) 広島県
生活困窮層	生活困窮層	8.2%	9.3%	9.2%	9.6%
	周辺層	13.6%	16.3%	15.4%	18.2%
生活困難層		21.8%	25.6%	24.6%	27.8%
非生活困難層		78.2%	74.4%	75.4%	72.2%



(世帯構成別の生活困難層の内訳)

区 分			ふたり親の家庭		ひとり親の家庭	
			呉市	(参考) 広島県	呉市	(参考) 広島県
生活困難層	生活困窮層	小学校5年生	5.4%	6.8%	31.7%	30.0%
		中学校2年生	5.5%	6.7%	34.9%	28.7%
	周辺層	小学校5年生	11.7%	14.7%	28.3%	30.2%
		中学校2年生	13.6%	16.3%	27.9%	30.9%
非生活困難層		小学校5年生	82.8%	78.5%	40.0%	39.9%
		中学校2年生	80.9%	76.9%	37.2%	40.4%

※端数処理の関係で、合計が100.0%とならない場合がある。

## (2) 子どもの学び

生活困難層の子どもは、非生活困難層の子どもに比べて、学校の授業が分からないと感じる割合が高い。また、生活困難層の保護者は、非生活困難層の保護者に比べ、子どもの学びへの関わりが少ない。

### ① 学校の授業の理解度

授業が分からないと感じる子どもは、非生活困難層に比べ生活困難層に多い。

回答区分	学年	生活困難層		非生活困難層
		生活困窮層	周辺層	
授業が「分からないときの方が多い」「ほとんど分からない」と答えた児童生徒の割合	小5	8.7%	9.0%	4.7%
	中2	28.1%	16.7%	11.0%

### ② 保護者が子どもの勉強をみる頻度 【保護者への質問】

保護者が子どもの勉強をみる機会が、めったにないのは、非生活困難層に比べ生活困難層に多い。

回答区分	学年	生活困難層		非生活困難層
		生活困窮層	周辺層	
子どもの勉強をみる機会が「めったにない」と答えた保護者の割合	小5	30.0%	25.0%	11.8%
	中2	63.3%	58.8%	51.9%

## (3) 子どもの生活

生活困難層の子どもは、非生活困難層の子どもに比べて、朝食を食べない割合が高い。また、平日の放課後に一人である子どもは生活困難層に多い。

### ① 平日に朝食をとる頻度

朝食を食べない子どもは、非生活困難層に比べ生活困難層に多い。

回答区分	学年	生活困難層		非生活困難層
		生活困窮層	周辺層	
朝食を「いつも食べない」「食べない方が多い」と答えた児童生徒の割合	小5	11.1%	9.0%	1.9%
	中2	14.6%	4.5%	4.3%

### ② 平日の放課後の状況

平日の放課後、一人である子どもは、非生活困難層に比べ生活困難層に多い。

回答区分	学年	生活困難層		非生活困難層
		生活困窮層	周辺層	
「一人である」と答えた児童生徒の割合	小5	13.6%	9.7%	8.0%
	中2	10.4%	7.7%	7.2%

#### (4) 子どもの健康

生活困難層の子どもは、非生活困難層の子どもに比べて、自分の健康感が低く、医療機関の受診抑制を経験している割合が高い。

##### ① 健康状態の実感

自分の健康状態をあまりよくないと感じている子どもは、非生活困難層に比べ生活困難層に多い。

回答区分	学年	生活困難層		非生活困難層
		生活困窮層	周辺層	
健康状態を「よくない」「どちらかといえばよくない」と答えた児童生徒の割合	小5	8.6%	7.0%	3.4%
	中2	12.5%	14.2%	7.9%

##### ②-1 過去1年間に子どもを医療機関で受診させなかった経験 【保護者への質問】

受診させなかった保護者は、非生活困難層に比べ生活困難層に多い。

回答区分	学年	生活困難層		非生活困難層
		生活困窮層	周辺層	
受診させなかった経験が「ある」と答えた保護者の割合	小5	36.7%	24.3%	11.8%
	中2	28.6%	23.6%	14.4%
受診させなかった経験が「ない」と答えた保護者の割合	小5	63.3%	75.7%	88.0%
	中2	71.4%	75.2%	85.1%

##### ②-2 受診させなかった理由 【受診させなかった経験がある保護者への質問】

「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て受診させなくてもよいと判断した」を理由で受診させなかった保護者は、生活困難層、非生活困難層ともに多い。

小5	回答区分	生活困難層		非生活困難層
		生活困窮層	周辺層	
	「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て受診させなくてもよいと判断した」と答えた保護者の割合	30.3%	52.8%	67.3%
	「多忙で医療機関に連れて行く時間がなかったため」と答えた保護者の割合	18.2%	13.9%	19.8%
	「公的医療保険に加入していたが医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため」と回答した保護者の割合	24.2%	13.9%	4.0%
	「お子さん本人が受診しなかったため」と答えた保護者の割合	9.1%	5.6%	2.0%

中2	回答区分	生活困難層		非生活困難層
		生活困窮層	周辺層	
	「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て受診させなくてもよいと判断した」と答えた保護者の割合	25.0%	46.2%	44.8%
	「多忙で医療機関に連れて行く時間がなかったため」と答えた保護者の割合	25.0%	28.2%	23.3%
	「公的医療保険に加入していたが医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため」と回答した保護者の割合	14.3%	5.1%	3.4%
	「お子さん本人が受診しなかったため」と答えた保護者の割合	14.3%	7.7%	17.2%

## (5) 子どもの自己肯定感

生活困難層の子どもは、非生活困難層の子どもに比べて、自己肯定感が低い。

### ① 自分のことが好きだと思うかどうか

自分のことを好きだと思わない子どもは、非生活困難層に比べ生活困難層に多い。

回答区分	学年	生活困難層		非生活困難層
		生活困窮層	周辺層	
自分のことを「好きだと思わない」「あまり思わない」と答えた児童生徒の割合	小5	32.1%	33.3%	18.8%
	中2	53.2%	43.3%	37.0%

### ②-1 将来の夢

将来の夢の有無については、生活困難層と非生活困難層では回答に大きな差は無い。

回答区分	学年	生活困難層		非生活困難層
		生活困窮層	周辺層	
将来の夢が「ある」と答えた児童生徒の割合	小5	86.4%	75.7%	85.0%
	中2	65.6%	64.5%	62.9%
将来の夢が「ない」と答えた児童生徒の割合	小5	13.6%	21.5%	14.5%
	中2	34.4%	33.5%	36.7%

### ②-2 将来の夢が「ない」理由 【将来の夢が「ない」と答えた児童生徒への質問】

小5

回答区分	生活困難層		非生活困難層
	生活困窮層	周辺層	
「具体的に何も思い浮かばないから」と答えた児童生徒の割合	72.7%	54.8%	66.4%
「夢をかなえるのは難しいと思うから」と答えた児童生徒の割合	9.1%	22.6%	15.5%
「分からない」と答えた児童生徒の割合	9.1%	22.6%	14.7%
「もう全てに満足しているから」と答えた児童生徒の割合	0.0%	0.0%	0.9%

中2

回答区分	生活困難層		非生活困難層
	生活困窮層	周辺層	
「具体的に何も思い浮かばないから」と答えた児童生徒の割合	72.7%	63.5%	70.9%
「夢をかなえるのは難しいと思うから」と答えた児童生徒の割合	9.1%	11.5%	8.8%
「分からない」と答えた児童生徒の割合	12.1%	17.3%	17.9%
「もう全てに満足しているから」と答えた児童生徒の割合	6.1%	1.9%	1.4%

(6) 子育て支援策

① 子どもに関する施策の情報源 【保護者への質問】

今後の情報源としてSNS等を希望している保護者は、生活困難層、非生活困難層ともに多い。

回答区分	学年	生活困難層		非生活困難層
		生活困窮層	周辺層	
今後受け取りたい方法として「行政機関のホームページ」「SNS」と答えた保護者の割合	小5	87.8%	98.6%	102.4%
	中2	99.0%	100.0%	110.6%

\*複数回答のため100%を超える場合あり。

② 充実させてほしい支援 【保護者への質問】

「子どもが安全に過ごすことができる遊び場の提供」「読み書き計算など基礎的な学習への支援」「保護者が家にいない時に子どもを預かる場やサービスの提供」の充実を希望している保護者は、生活困難層、非生活困難層ともに多い。

小5

質問	生活困難層		非生活困難層
	生活困窮層	周辺層	
ア 子どもが安全に過ごすことができる遊び場の提供	52.2%	58.1%	56.3%
イ 読み書き計算など基礎的な学習への支援	37.8%	41.2%	49.2%
ウ 保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供	34.4%	35.1%	43.1%
エ 保護者の就労に関する支援	31.1%	31.1%	29.3%
オ 子どものことや生活などについて何でも相談できるところ	36.7%	28.4%	27.4%
カ 安い家賃で住める住居の確保	45.6%	29.1%	17.6%
キ 子どもだけでも利用できる「子ども食堂」等のサービス	11.1%	11.5%	15.6%
ク 同じ悩みを持った者同士の交流	8.9%	16.2%	12.4%
ケ 離婚前後の子どもとの面会交流等の支援	3.3%	2.7%	2.9%

中2

質問	生活困難層		非生活困難層
	生活困窮層	周辺層	
ア 子どもが安全に過ごすことができる遊び場の提供	37.8%	39.4%	47.3%
イ 保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供	36.7%	33.3%	46.2%
ウ 読み書き計算など基礎的な学習への支援	28.6%	35.8%	44.3%
エ 保護者の就労に関する支援	33.7%	33.9%	32.5%
オ 子どものことや生活などについて何でも相談できるところ	27.6%	23.0%	31.5%
カ 安い家賃で住める住居の確保	44.9%	27.9%	19.6%
キ 子どもだけでも利用できる「子ども食堂」等のサービス	18.4%	13.9%	15.9%
ク 同じ悩みを持った者同士の交流	16.3%	9.1%	14.8%
ケ 離婚前後の子どもとの面会交流等の支援	4.1%	0.6%	2.5%

\*複数回答のため100%を超える。 \*      上位3項目